

KVK 浴槽用定量単水栓 K1900 〈各仕様共通〉 取扱説明書

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です
この絵表示は、「分解禁止」の内容です
この絵表示は、「接触禁止」の内容です
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

やけど、漏水をした場合の処置
やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

| | | | |
|-----------|---|--|---|
| 警告 | <p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | <p>加工および接合等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | <p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>禁止</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p> |
| | <p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | <p>配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | <p>高温の湯をお使いのときには吐水口および水栓本体は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p>接触禁止</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p> |
| | <p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で湯水を止めてから行ってください。</p> <p>!</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | | |

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 注意 | <p>器具に乗ったり、よいかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | <p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p> | <p>目盛設定ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p>!</p> <p>ゆっくり操作しないと「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> |
| | <p>凍結が予想される際は、水栓本体や配管に布を巻くなどして凍結を防止してください。</p> <p>!</p> <p>凍結予防をしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> | | |

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、**0574-55-1191**をご利用ください。

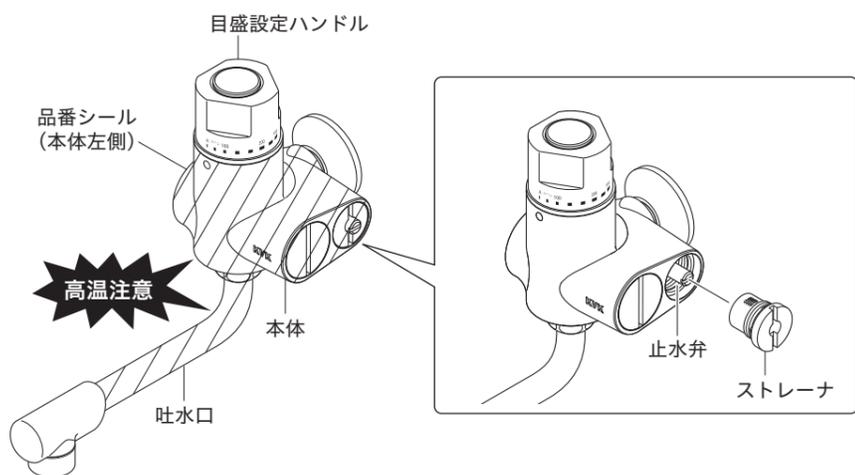
| | |
|--|--|
| <p>水栓の品番をご確認ください</p> <p>水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]</p> | <p>修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています</p> <p>技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用</p> <p>部品代…修理に使用した部品代</p> <p>出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用</p> |
| <p>●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。 ☎ 0570-099-552</p> | |
| <p>株式会社KVK</p> <p>インターネットホームページ http://www.kvk.co.jp/</p> | |

ご使用前の / ご使用方法

給湯器の使用上のご注意

- ・給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。

各部の名称



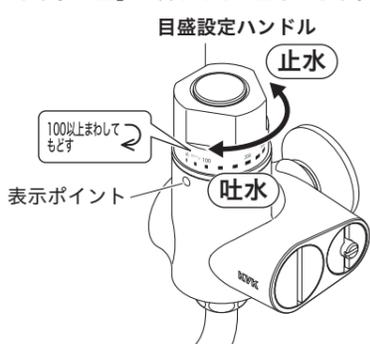
目盛設定ハンドルの使用方法

目盛設定ハンドルを時計回りに回すと湯水が出ます。浴槽の大きさに応じて、ハンドルの目盛(%)を表示ポイントに合わせてください。(1回の最大吐水量約400%) (例)200%をセットする時は、ハンドルを目盛「200」に合わせてください。ハンドルは計量しながら自動で元へ戻り止水します。計量以外で使用する場合は、目盛範囲でハンドルを回し吐水します。「止」に合わせて止水します。

【警告】
湯水を使うときは、手で適温かどうか確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【注意】
目盛設定ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】
100%以下をセットする時は、ハンドルを一度「100」以上回した後、目盛を合わせてください。
※本品は計量機器ではありません。目盛設定ハンドルの目盛は吐水量の目安とさせていただきます。



吐水量の固定方法

浴槽の大きさに合わせて、ストッパーガイドをあらかじめセットしておく、目盛設定ハンドルが設定量以上回らなくなり、いつも一定の設定量でご使用できますのでストッパーガイドの取り付けをおすすめします。

- 目盛設定ハンドルを止水の位置にします。
- キャップ、ナット、歯付座金、座金をはずし、目盛設定ハンドルを回さないように取りはずします。
- 同梱のストッパーガイド(黒色)を設定量に応じてセレーションにはめ込んでください。
(例)最大吐水量を250%に設定する場合、本体側の目盛位置にストッパーガイドの凸部から時計回りで3本目の溝を合わせてください。(最大吐水量400% - 150% = 250%)
ストッパーガイドの溝は約50%間隔になっていますが、溝と溝の微調節も可能です。
- 目盛設定ハンドルの「止」を本体の表示ポイントに合わせてはめ、はずした逆の手順で組み込みます。

| | | | |
|--|---------------------------------|--|------------------------------|
| <p>キャップ</p> <p>ナット</p> <p>歯付座金</p> <p>座金</p> | <p>②-1 はずす</p> | <p>(例)250%に設定する場合</p> <p>-50% (1本目)</p> <p>-100% (2本目)</p> <p>-150% (3本目)</p> <p>本体側目印</p> <p>合わせてはめる</p> <p>本体側目印</p> | <p>③ はめる</p> <p>ストッパーガイド</p> |
| <p>目盛設定ハンドル</p> | <p>②-2 回さないようにはずす</p> | | |
| <p>キャップ</p> <p>ナット</p> <p>歯付座金</p> <p>座金</p> | <p>④-2 取り付ける</p> | | |
| <p>目盛設定ハンドル</p> | <p>④-1 合わせはめる</p> <p>表示ポイント</p> | | |

日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで洗い流してから、乾いた布で拭き取ります。



【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

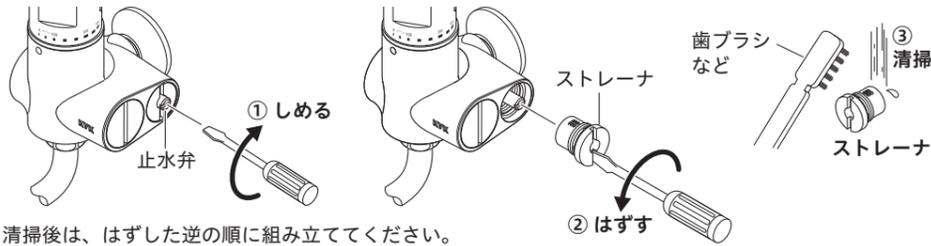
ストレーナの清掃方法

本体と吐水口のストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

本体のストレーナ

【△警告】ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

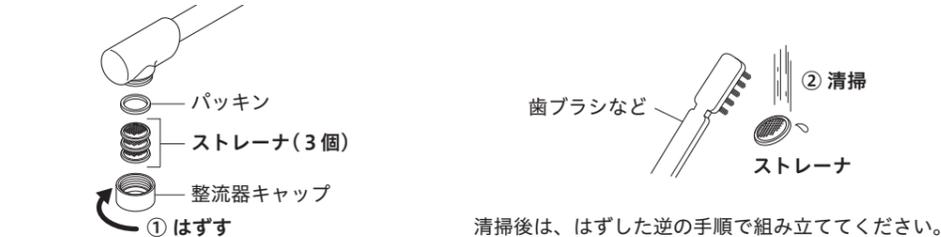
- ・高温の湯をご使用の後は水栓本体が熱くなっていますのでやけどに注意してください。
- ① 本体の止水弁[1か所]または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② ストレーナ[1個]を取りはずします。
- ③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



清掃後は、はずした逆の順に組み立ててください。ストレーナを締め込む時、目盛設定ハンドルを吐水状態にしてください。

吐水口のストレーナ

- ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ② ストレーナをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

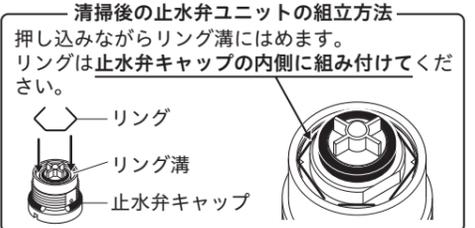
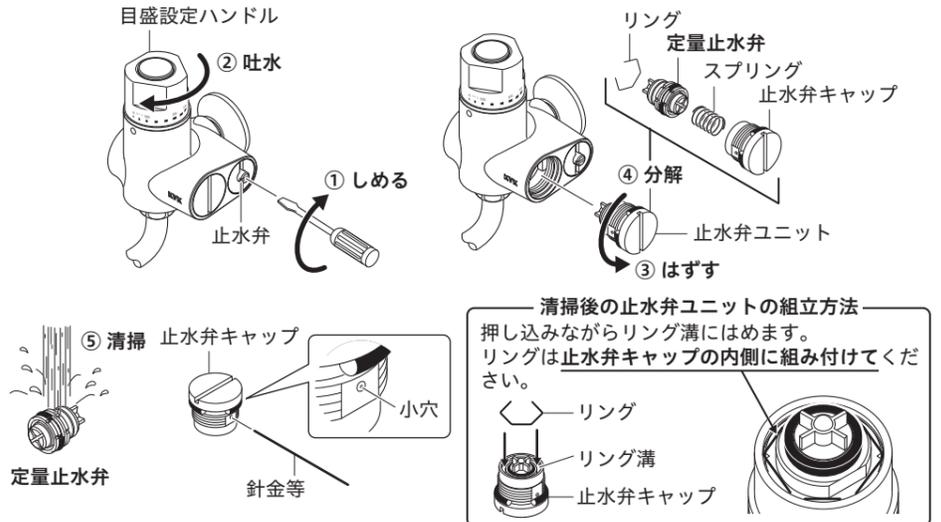
定量止水弁の清掃方法

定量止水弁がつまりますと、きちんと定量できなくなったり、湯水が止まらなくなりますので、定量止水弁は定期的に清掃してください。

【△警告】定量止水弁の清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。定量止水弁をいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

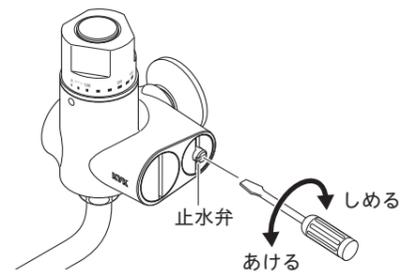
- ① 本体の止水弁(1か所)または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 目盛設定ハンドルを吐水状態にします。(この時、吐水していないことを確認してください。)
- ③ 止水弁ユニットをマイナスドライバー等で取りはずします。
- ④ 止水弁ユニットからリングをはずして分解します。
- ⑤ キャップの小穴を細い針等で清掃し、定量止水弁は水洗いします。清掃後は逆の手順で組み立ててください。

【△注意】止水弁ユニットは、目盛設定ハンドルを止水状態にしてから締め込み、吐水状態にしたのち、再度確実に締め込んでください。しっかり締め込んでいないと漏水のおそれがあります。



流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。

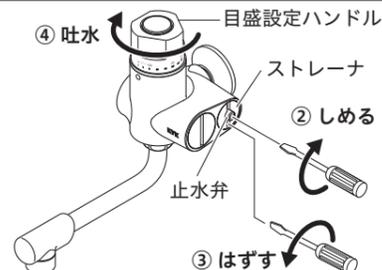


凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。
- 【△警告】解氷機を使用する際は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

| 器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合) | 配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合) | 操作 |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| ② | ① | 配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作) |
| ③ | ③ | 止水弁[1か所]を締めます。 |
| ④ | ④ | ストレーナ[1個]を取りはずします。 |
| | | 目盛設定ハンドルを吐水状態にして水を抜きます。 |

【△警告】給湯用でご使用の場合、水栓内に熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】上記と逆の手順で通水を再開してください。必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、目盛設定ハンドルを「止」の位置にしてから通水してください。通水を再開しても水が出ない場合……目盛設定ハンドルを吐水状態にして、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検をおこなってください。

【目盛設定ハンドルの操作性】

時々目盛設定ハンドルをいっぱい回してください。目盛設定ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、吐水機能が損なわれるおそれがあります。



配管まわりからの水漏れ(1か月に1回程度)

【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

| 使用年数 | | | | | | | | | | | |
|--|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 |
| お客様による日常のお手入れ・点検 | | | | | | | | | | | |
| 消耗部品の交換 (パッキン等) [有料] | | | | | | | | | | | |
| 摩耗劣化部品の交換 (シャワーホース等) [有料] | | | | | | | | | | | |
| 買い替えご検討 | | | | | | | | | | | |
| 部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・摩耗劣化部品の例 (水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等 【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐出した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。 | | | | | | | | | | | |
| 補修部品の供給期間 この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。 | | | | | | | | | | | |

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

| 現象 | お調べいただくところ | 処置 | 参照ページおよび項目 |
|----------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|
| 湯水が止まらない | 目盛設定ハンドルは止水位置に合っていますか | 目盛設定ハンドルを止水位置に合わせる | 3 ページ 「目盛設定ハンドルの使用方法」 |
| 定量止水ができない | 定量止水弁にゴミ等がたまっていますか | 定量止水弁を清掃する | 6 ページ 「定量止水弁の清掃方法」 |
| 定量止水するまでの時間が長い | 定量止水弁にゴミ等がたまっていますか | 定量止水弁を清掃する | 6 ページ 「定量止水弁の清掃方法」 |
| 吐水量が少ない | 止水弁は十分に開いていますか | 止水弁を開ける | 6 ページ 「流量の調節方法」 |
| | ストレーナにゴミ等がたまっていますか | ストレーナを清掃する | 5 ページ 「ストレーナの清掃方法」 |
| | 定量止水弁にゴミ等がたまっていますか | 定量止水弁を清掃する | 6 ページ 「定量止水弁の清掃方法」 |
| | ストレーナは凍っていませんか | ストレーナにぬるま湯をかける | — |
| 温度調節がうまくできない | ストレーナにゴミ等がたまっていますか | ストレーナを清掃する | 5 ページ 「ストレーナの清掃方法」 |
| 吐水が飛び散る | ストレーナにゴミ等がたまっていますか | ストレーナを清掃する | 5 ページ 「ストレーナの清掃方法」 |

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。